

COMPASS

学習院大学通信

第24号

2005.1.13

◆編集発行◆

学習院大学学生部 東京都豊島区目白1-5-1

CONTENTS

- 1- 第55回 四大学運動競技大会
「学生の提言」受賞者決定
- 2- 「学生の提言」優秀受賞作品紹介
- 7- 平成16年度学年末試験について
- 8- 学生部からのお知らせ
- 9- 庶務部からのお知らせ
- 10- 各部署からのお知らせ
- 15- 保健室だより
- 16- 学年暦
課外活動レポート

第55回 四大学運動競技大会 通算44勝達成！！

10月22日から24日まで、武蔵大学において、第55回四大学運動競技大会が開催されました。昨年度の大会では、惜しくも総合優勝を逃しましたが、今回は正式種目・一般種目共に第1位の好成績をおさめ、総合優勝を成し遂げると共に、昨年度の雪辱をはたすことができました。本年度は第2位の成蹊大学に25点という大差をつけての優勝で通算44勝目となりました。

第56回の大会（平成17年10月21日～10月23日、成城大学）でも力の限り頑張り連勝街道を歩んでいきましょう。

第55回 四大学運動競技大会得点表

	学習院	成 蹊	武 蔵	成 城
総合得点 (順位)	165.5 (1位)	140.5 (2位)	119.5 (3位)	100.0 (4位)
正式種目得点 (順位)	109.5 (1位)	94.5 (2位)	80.5 (3位)	68.0 (4位)
一般種目得点 (順位)	56.0 (1位)	46.0 (2位)	39.0 (3位)	32.0 (4位)
教職員種目得点 (順位)	8.0 (3位)	9.0 (2位)	10.0 (1位)	3.0 (4位)

※ 教職員種目の得点は総合得点に含まれない。



『優秀賞 経済学部経済学科 4年 福田俊輔さん ほかに佳作5点』

本年度の「学生の提言」は、「携帯電話とコミュニケーション」というテーマで募集を行ったところ、11編の応募がありました。応募のあった論文について、学長、学生部長、教務部長、学生部委員によって厳正な審査が行われ、優秀賞1作品、佳作5作品が下記のとおり決定しました。受賞者には、学長から賞状、ならびに学生部長から副賞が授与されました。



授賞式後学長、学生部長と記念撮影
左から小高さん、山根さん、福田さん、細川さん、町田さん
(欠席：渡邊さん)

● 受賞者（敬称略）●

1. 優秀賞（副賞10万円）

経済学部経済学科 4年 福田 俊輔

2. 佳 作（副賞3万円）

経済学部経営学科 4年 細川 博資

法 学 部 法 学 科 3年 町田 拓哉

経済学部経営学科 3年 小高祐一郎・伊藤 瑛介
加賀美 達・白石 雄多
高崎 悠太

経済学部経営学科 3年 山根 千沙・石渡 麻美
川畑 茜・岸本 直子

理学部物理学 2年 渡邊 隼史

平成16年度「学生の提言」受賞者決定

学生の提言
優秀賞受賞作品紹介

「携帯電話とコミュニケーション」

経済学部経済学科 4年 福田 俊 輔

I はじめに

そもそも携帯電話がここまで現代の世の中に浸透した背景にはどのようなものがあるのでしょうか。また、携帯電話にはどのような利便性があるのでしょうか。

携帯電話を持つことによって失われたコミュニケーション・生まれたコミュニケーションにはどのようなものがあるのかを

自らの体験を踏まえて挙げてみたいと思います。

利便性や機能性から生じる現代のコミュニケーションについて、どのような形態が存在するのだろうか。一方向的、双方向的という面に着目してみたいと思います。

II 大学生の現状

大学生同士のコミュニケーションをとるにあたって携帯電話の存在はいまや必要不可欠になってきています。そのため携帯電話を紛失したり、常に保持していないと不安衝動に駆られてしまうという人まで中にはいるようです。それはもはや携帯電話が単なるコミュニケーションツールとしての存在にとどまらず、自らに対する精神安定「財」的要素を持ってくるように思えます。

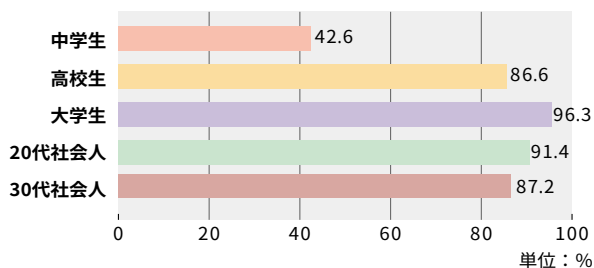
ではいったいどれ程の学生が実際に携帯電話を所有し、必要としているのだろうか。

図表③ 日常的に利用するもの（複数回答） (%)

	全 体	男 性	女 性	自宅通学	自宅外通学
携帯電話	87.7	85.2	90.2	87.7	87.9
テレビ	81.7	80.4	83.0	81.9	81.3
パソコン	51.9	53.4	50.5	54.2	46.7
新聞	39.3	41.6	37.0	47.4	20.5

出所：アンケート調査年鑑2004年より作成

図表① 携帯電話・PHSいずれかの保有率



単位：%
出所：アンケート調査年鑑2004年より抜粋

図表② 大学生に必要なもの 経年変化 (%)

1995年	①電話 (64.2)	②テレビ (54.7)	③免許証 (34.2)
1998年	①テレビ (58.7)	②携帯電話 (54.6)	③パソコン (46.6)
1999年	①携帯電話 (73.6)	②パソコン (64.3)	③テレビ (59.9)
2001年	①携帯電話 (89.0)	②パソコン (82.1)	③テレビ (62.5)

出所：アンケート調査年鑑2004年

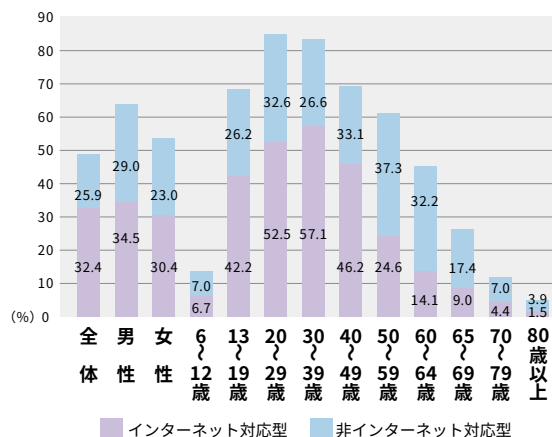
東洋大学「新入生アンケート」調査より抜粋

図表①より確かにほとんどの大学生は携帯電話を保有している、保有していない学生を見つけるのが困難といえるのも事実のようです。

また、図表②より近年では大学生活をするにあたって、携帯電話は年を追うごとに必需品であると考えられる傾向が強くなってきているということがわかります。

図表③より大学生が日常的に使用するものとして「携帯電話」「テレビ」「パソコン」の“三種の神器”があがりました。中でも携帯電話は男女に関係なく他の数値よりも高く、ほぼ9割もの割合を示しています。大学生にとって携帯電話抜きの生活は想像し難くなっているのかもしれませんが、携帯電話以外の通信手段・情報収集手段としてパソコンが挙げられていますが、その使用頻度は割合だけを見てとれば携帯電話の半分ほどの数値しかありません。パソコン（インターネット）の普及で、テレビ離れが起きているとも言われますが、日常生活には依然テレビが欠かせないようです。

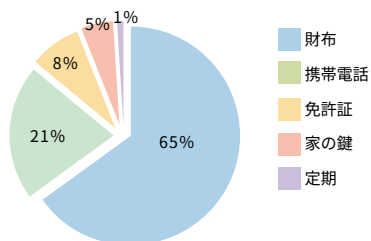
図表④ 携帯電話・PHSの利用率（個人）（平成15年末）



出所：平成16年度版情報通信白書より作成

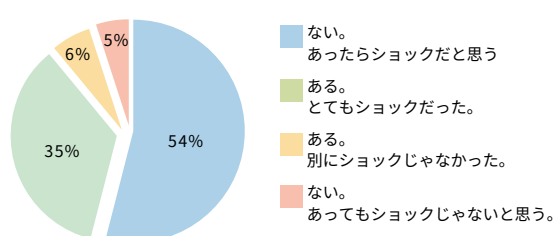
図表④より20～29歳における携帯電話・PHSの個人の利用率は他のどの年齢層と比べても高く、大学を卒業後も携帯電話を使っているコミュニケーション手段としてそのまま継続して使用しているということが推測されます。

図表⑤ 無くしたら一番ショックなもの



出所：アンケート調査年鑑2004年より作成

図表⑥ 携帯を無くしたり、壊したことはある？



出所：アンケート調査年鑑2004年より作成

学生にとって携帯電話はいまや生活必需品となっていると考えられます。そのため図表⑤より、無くして一番ショックなものの中に携帯電話が堂々の二位につけています。

そして図表⑥より所有している人の9割の学生が携帯電話を無くしたり、壊してしまうことにショックを感じるだろうという統計がでています。

また、個別に友人に「携帯電話に対する生活の中での影響」についてたずねたところ、以下のような意見が得られました。

III 携帯電話が大学生に普及した要因

では、携帯電話がここまで浸透した背景にはどのような要因が挙げられるのでしょうか。またその機能について今現在どのようなものがあるのでしょうか。

携帯電話としての本来の機能である通話に加え現在では様々な付加機能が備わっています。

携帯電話＝機能性：ワールドワイド、小型化、パイプ、カメラ、テレビ、音楽、スケジュール管理、メモリーカード、

利便性：通話、メール、ウェブ、情報検索、情報配信、ML、ゲーム

セキュリティ：指紋センサー、暗証番号

大学生にもなるとアルバイトを始めたり、部活・サークル等の付き合いにより生活習慣がそれまでと大きく変化し、絶えず移動するようになります。互いが移動しあうため、一般固定電話やパソコン等による情報のやりとりではタイムラグが生じてしまい、リアルタイムの相互情報交換が難しくなってしまう

◆ もし一日携帯電話を家に置き忘れてしまったら、その日一日が落ち着かず、ブルーな気分になる

◆ 電波が悪いとすぐ切れてしまうので、イライラする

◆ 携帯電話を持っていなかったら友達が今ほど多くはないと思う

◆ 携帯電話の便利さの味をしめた今となつては、持っていないで生活をするのが考えられない。持っていなかったらその不便さを感じないだろうに

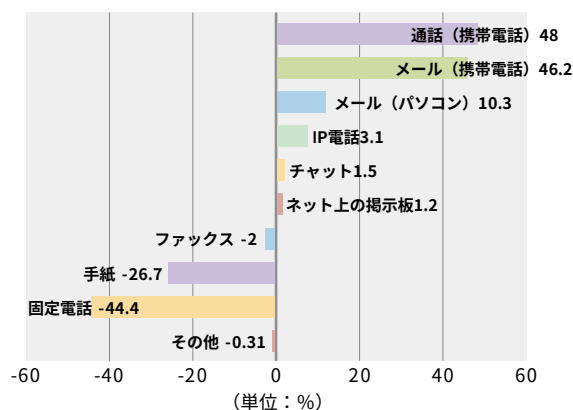
◆ 対象の情報がオンタイムで得られて便利だけど、何かと拘束力を生んでしまう

◆ 電話をかけてなかなかつながらないとイライラしてしまう

以上のことから携帯電話が自分たちの生活の中のひとつとして溶け込んでしまっており、「もし無かったならば」という仮定での生活は想像できなくなってしまうようです。

参考に学生を含めたあらゆる世代の人々が、携帯電話を持つことによって変化した人との連絡手段が下図表のようにあります。

図表⑦ 一年間で変化した人との連絡手段



出所：アンケート調査年鑑2004年より作成

す。そのため、どこでも・いつでも使える携帯電話の機能性や利便性が人々の、中でも学生のニーズにマッチし一気に普及したと思われます。

また、一度でも互いの、及びグループ間でのコミュニケーション手段として携帯電話が用いられ始め、それが確立すると新たにその輪の中に加わる者にとって携帯電話という媒体は情報を得るために必要不可欠の物となります。もし持っていなければ会話についていけない等の疎外感を感じたり、必要な情報が不足してしまうなど自分に不利益が生じるだけである、という結果になってしまいます。

つまり、互いに移動しあう者同士が連絡を取り合う場合、以前のような固定電話ではフレキシブルな情報の交換ができないということ。また人数の規模に関わらず、自分の所属する団体(コミュニティ)の中での、自からの存在を確認するために携帯電話が自ずと必要となるということ。この二つがここまで学生の間で、普及率が高まった主な要因だと考えられます。

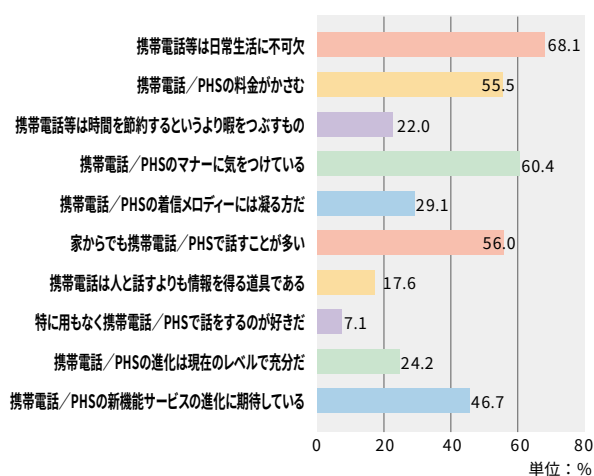
IV 携帯電話を持つことによって (1) 失われたコミュニケーション …………… (2) 生まれたコミュニケーション

(1) 失われたコミュニケーション

本来コミュニケーションを生み出す助けをするはずの携帯電話が逆にその機会を失わせてしまうということはあるのでしょうか。携帯電話の持つ特性がそれらを引き起こしてしまっていると考えられます。

- 機密性の発生により、友人・対話者がいったい誰なのかといった、かつてはささいなことから話しか膨らんでいった家族との会話。
- メール偏重により対面におけるコミュニケーションをする力それ自体の減少。

図表⑧ 携帯電話／PHSに関する意識調査



出所：アンケート調査年鑑2004年より抜粋

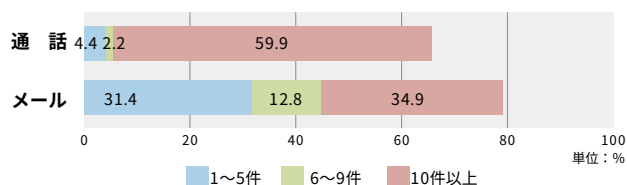
機密性により失われたもの

図表⑧からもわかるように家に居た場合でも固定電話よりも携帯電話・PHSから話すことが多くなったため、‘家’という家族と共有する空間にいなが家族以外の他者と会話することが容易になったといえます。しかもそれは通話者同士が秘密を共有してしまえば、当人以外は誰と話しているかなど全く不明です。仮にこれが固定電話だった場合どうなるのでしょうか。空間を共有している限り、必ずしも電話の発信者が求める相手が第一に出てくるとは限りません。そのためそこには取り次ぐ人物が存在しうると考えられます。携帯電話の利点の一つに話したい相手とダイレクトに会話ができることが挙げられますがその一方でそこには機密性が生じます。家族間にも勿論プライバシーは必要なことではありますが、学生とはいえ、歳をいくつとろうとも親は子の身を案じるものです。つまり、機密性に保たれたままであると、家族間においてそこからは何も話題としての発展が起こらず、必然的にコミュニケーションの機会を失っていると考えられます。

対面におけるコミュニケーション能力

携帯電話の持つ機能で通話するという機能は数多くある中のひとつにしか過ぎません。

図表⑨ 通話・メールの頻度



出所：アンケート調査年鑑2004年より作成

図表⑨にもあるように利用する頻度としては通話よりもメール機能の方が頻度は高いようです。メールも入力の手簡略化、絵文字や顔文字といった装飾機能を備え、感情やそのときの表情をうまく相手に伝えられるようになっています。なぜこんなにもメール機能が浸透したかは定かではありませんが、日本語と日本人の気質の両方がうまく作用しているのではないかと思います。

日本語、特に漢字はその文字ひとつひとつに意味があり、また日本語の言い回しは多岐にわたり、細かな表現力を生みます。以前イギリスに留学をしていた時、向こうで使える携帯電話を持っていたのですがメインとなる機能は通話であって、メールは本当にちょっとした伝言・メッセージを伝える程度のものでした。また、アルファベットを連ねてようやくひとつの単語が出来上がるため手間もかかり、一日何十通も往復させることなど多くの人はしていないようでした。

そして日本人のおもて立てで表現しない、どこか暗に示すものを含むといった独特の昔からの気質も、メールでならそれらをうまく補完することができます。普段は恥ずかしくて面とむかって言えないことや、相談事なども文面にして送信のボタンを押してあげるだけで相手に自分の意思が伝えられます。そして送られてきた相手にとってもメールだと都合なことがあります。それはメールを送られてきた相手は、そこに考える時間があたえられるということです。

言葉と気質の両方に助けられ、対人におけるコミュニケーションを苦手とする人でも自分の意見や考え方、気持ちを相手に伝えられることが携帯電話という媒体を通してできるようになりました。けれども、それが過度に行われ過ぎると、より一層対人との付き合い方がわからなくなってしまい、自分を表現する手段を見失ってしまいます。そして人間関係がメールを通してでのみしか行えない淡白な人間と化してしまう恐れがあります。

(2) 生まれたコミュニケーション

携帯電話を持つことによって新たに生まれたコミュニケーションの手段は数多くあります。

図表⑧より携帯電話・PHSのマナーに気をつけている、という割合が大学生全体の60.4%を占めています。精神面においてよく大人と子どもの中間的存在に位置づけられる学生は、実は‘周囲’に気を使っているようです。マナーとは既知・未知問わ

ず周囲の人々との言葉を介さないコミュニケーションともとれないでしょうか。特に電車内や病院など医療機器を扱っている施設内、航空機内などで無関心にも携帯電話を使って会話している人を見つけると、きっと多くの人が煙たい顔をしながら振り返ってしまうのではないのでしょうか。

大学生になって感じたことは、行動範囲・交際範囲が広範になったことがあげられます。

地元を離れ遠くの大学に通うことになった高校時代の友人とは月に一度ほどのペースで連絡があります。けれども逆に自分と同じように都内の別の大学に通う高校時代の友人でとは、互いの生活スタイルが異なるため、偶発的に会う回数はひよっとしたら月に一回よりも全然少ないかもしれません。そうすると、遠方に住む友人で月一で連絡しあう方が随分と身近に感じます。

こうした遠方にいる相手と距離を考慮にいれずコミュニケーションができます。

先日渋谷のとある喫煙所でタバコを片手に目の前にいる6、7人で集まっているグループに目をやるとそのうちの一人の携帯の着信ランプと画面が光っていました。夜になっていたため少し遠くにいた自分も気づくことができました。そのグループ

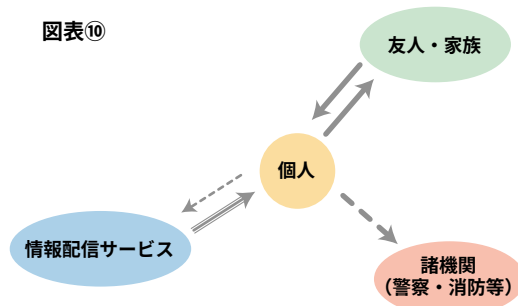
は恐らくメンバーのほとんどが耳がよく聞こえない方だったと思われます。補聴器はつけているものの会話はすべて手話だったからです。自分は手話はわかりませんが、ひよっとしたら彼らとは携帯のメールを通じてタイムリーに意思疎通をはかることができるのではないかとその時気がつきました。

また、携帯電話をもつことによって以前に比べ人間関係に変化が生じたという意見を耳にすることがあります。携帯電話の普及によって人間関係が希薄になったということはあるのでしょうか？確かにメール偏重によってコミュニケーションを面と向かってとることにより苦手意識が生じたという人もいます。けれどもそうした対面でのコミュニケーションの苦手な人にとって携帯電話は救いの手以外のなにものでもないと思います。なぜなら、自分の意思を表示する形がどうであれ、それによって相手との交流が生まれ人間関係が構築されるからです。恐らく連絡が容易に出来ることから些細なことでも気軽にメールや電話で確実にその相手を呼び出せる。そのため、普段から仲の良い、または交流のある人との繋がりが携帯電話という媒体が存在することでより密に太くなっていくのではないかと思います。

V コミュニケーションの方向

一方向的なコミュニケーション、双方向的なコミュニケーション

どのような方向のコミュニケーションが世の中には存在するのでしょうか。



一方向的なコミュニケーション

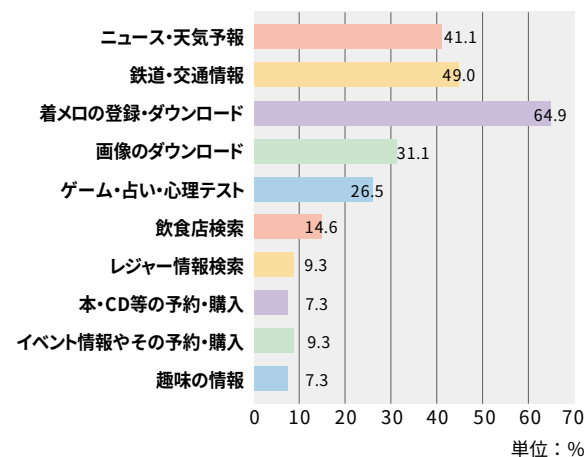
所属する団体内での連絡事項の伝達手段の変化について。(ML:メーリングリスト)

以前は連絡網というものが存在していました。そもそも連絡網のメリットとは相手に直接話しかけるがために情報が確実にその人に伝わるということです。けれどもその情報は多くの人を介して伝えられるために途中で人為的ミスが発生する可能性があります。また、往々にして必要な情報だけにとどまらず話し込んでしまい、なかなか連絡がすべての人に行渡らないという事態はしばしば発生していました。一方最近ではメーリングリストによって必要な情報だけを全員に一斉に送信することが可能になりました。そのため情報の共有が容易になり、また確実性も増しました。だがここにはコミュニケーションは存在せず、一方向的な情報の伝達がなされただけであると考えられます。

情報配信サービスにともなう視野・交際範囲の拡大

携帯電話に付属する機能としてインターネットと接続する機能があります。これによって自分が得たい情報を気軽に受け取ることができるようになりました。

図表⑪ 大学生の通信機能以外のコンテンツサービス利用状況



出所: アンケート調査年鑑2004年より作成

図表⑪より、現在数多くのコンテンツサービスが存在し、大学生のそれらの利用状況はどれも比較的高いように思われます。これらは一度登録さえしてしまえば、あとは登録を解除しない限り情報配信サービスを一方向的に受け取ることができます。自然と幅広い情報を入手できることにより、共通の話題を持っている友人との会話を弾ませるきっかけを作ることができます。また、これを機に交友範囲が広がる可能性もあり、そこから新たなコミュニケーションを創出するかもしれません。

就職活動

携帯電話が普及したことにより学生がこれから社会に加わり、まず最初の段階の就職活動においても以前とくらべ変化があったように思われます。特定の個人に直接つながり、リアルタイムで物事が進められるという携帯電話の特性を活かした方法で、面接や各種筆記試験等の可否を伝えられるということです。以前は自宅に電話がかかってくることもあり、合否

がわかるまで家から出られなかったこともあった、という話しを聞いたことがありました。自分が就職活動を通して感じたことは、企業からの電話はその多くが非通知表示でかかってくるため、どの企業からの電話なのか実際会話が始まってからでないとわからないということが多々ありました。これは企業から学生への一方的なやりとりではありますが、企業と学生をダイレクトに結ぶ、以前にはない形態ではないでしょうか。

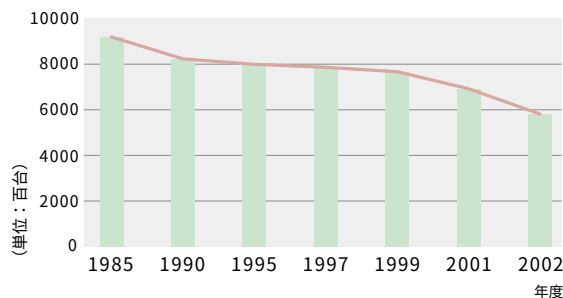
VI 最後に 将来この道具はどう変化していくべきか。

携帯電話の保有率・利用率は何も若年代だけではなく、まだ小さな子供を持つ親や、高齢者の割合も結構あります。例えば防犯ブザー等が作動した時に音を鳴らすだけではなく、その防犯機器があらかじめ持っている携帯電話に電波を送信し、第三者に自動的に発信もしくは、何かしらの信号を伝えるといったものを開発する。このような携帯電話以外の機器と携帯電話が連携したシステムを構築すれば、単に連絡手段としてだけでなく、小さな子供を持つ親や女性にとっては安心感も得られるのではないのでしょうか。

骨伝導方式による通話によって高齢者・障害者にも扱える携帯電話が近年市場に登場しました。この機能を備えた携帯電話が標準化されれば従来に比べコミュニケーションを取れる人の幅が広がると考えられます。

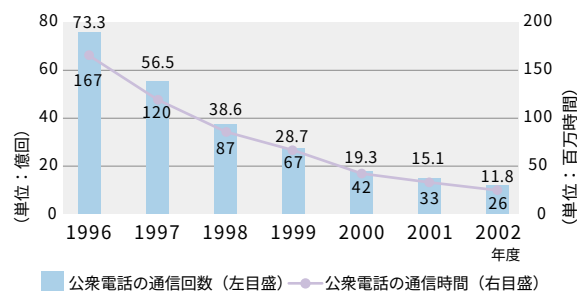
また保有率の高さに伴い、近年では一般公衆電話の数が以前に比べて明らかに減少しています。(図表⑫および図表⑬)確かに一般公衆電話はニーズの減少により屋外からの通信の手段を携帯電話にとって変わられてしまいました。以前は何か事件や事故が生じた場合には最寄りの公衆電話から通報されていたため、消防署や警察の側も正確な場所を特定することが比較的容易にできました。一方携帯電話からの緊急通報はリアルタイムに現場での情報を把握することが可能な反面、発信元からの細かな位置情報を通知することが現段階では技術的困難性からまだ実現されていません。緊急通報を受ける側の諸機関としては、迅速かつ確実な対応をするために位置情報の特定はきわめて重要なものになります。

図表⑫ 公衆電話の設置台数 (NTT)



出所: 情報メディア白書2004より作成

図表⑬ 公衆電話の通信回数・時間



出所: 情報メディア白書2004より作成

最後に、携帯電話という一種の媒体を通して新たなコミュニケーションを創出・保持していくべきであると思います。メール機能の充実や新技術の導入によってコミュニケーションの形態を変化させつつも、変えてはいけないものは人と人とのつながりを守るものであるべきだと思います。

◆◆ 受賞コメント ◆◆

経済学部経済学科4年 福田俊輔



携帯電話が必要不可欠な存在になった今日、もしこれを無くしたらどのように感じますか？

きっと自分が不便さを感じるだけでなく、友人にも少なからず不便さを感じさせてしまいます。また、個人情報凝縮しているため、悪用され迷惑をかけてしまう可能性すら秘めています。

単なるコミュニケーションツールと思わず、今後は便利に加えそのような情報に関する保守・管理にも個人が目を向けていかなければなりません。そして他の機器と連携することにより、また新たな可能性というのが生まれるでしょう。

携帯電話に代わる新たなコミュニケーションツールとして、次の時代どのようなものが生まれるのでしょうか。楽しみです。

学生時代の最後の記念としてこのような賞を頂き、本当に嬉しく思います。

【参考文献・参考資料】

- 情報メディア白書 平成16年度版
- 情報通信白書 平成16年度版
- アンケート調査年鑑2004年

平成16年度 学年末試験について

告 示

すでに発表されたとおり、来る1月20日から学年末試験が行われる。受験にあたっては、正々堂々自らの実力を発揮し、日頃研鑽の成果をあげてほしい。

この際、特に学生諸君に求めたいのは、決して不正行為を行わないという決意と、誘惑を斥ける勇気である。これまで再三の注意にもかかわらず、不正行為が跡を絶たないのは、誠に悲しむべきことと言わねばならない。諸君は、不正行為が憎むべき裏切り行為であるばかりでなく、おのが人格の完全な否定であることを知るべきである。

大学としては、不正行為に対し、断固たる処分をもって臨む方針である。切に諸君の自戒・自粛を望む。

平成17年1月

学 長

学年末試験にあたって

本年度学年末試験が1月20日から始まるが、試験に臨むにあたり、学部・大学院履修要覧『履修について』「8. 試験について」、法科大学院履修要覧『履修方法等に関する要項』「9. 試験」を再度熟読し、いやしくも本学学生として学長告示に違背することのないよう特に要望する。

万一、**不正行為があった場合には、無期停学及び当該年度履修全科目の無効措置等の処分**を行う方針であるから特に自戒を切望する。

平成17年1月

教務部長
学生部長

平成16年度 学年末試験 実施時間等

1 時 限	9 時00分～10時30分	総合基礎科目	(外国語科目・体育科目)	60分	試験本部は西5号館1 階多目的ホールに設 ける
2 時 限	10時50分～12時20分				
3 時 限	13時10分～14時40分	専門科目	(外国語科目・体育科目)	90分	
4 時 限	15時00分～16時30分				
5 時 限	16時50分～18時20分	総合基礎科目	(を除く)		

◆受験上の注意

履修届によって登録された授業科目でなければ受験することはできない。

試験時間割には平常の授業と試験の曜日・時限・教室が異なる科目、他の試験と合同で行う科目、また教室番号が同一で号館の異なるものがあるから注意すること。

受験の際には、必ず学生証を携帯し、試験時間中は常に机上に呈示しておかなければならない。

学生証を携帯しない者は、いかなる事情があっても受験できない。学生証を忘失した者に対しては、試験期間中に限り特別に発行する「仮学生証（学内試験用）」を持参、呈示した場合に限り、受験を許可する。仮学生証は、西5号館4階学生部で発行する。

試験開始後20分以上遅刻した者は受験を認めない。また、試験開始後30分を経過するまでは、試験場からの退出を許可しない。

試験場における座席は、番号札もしくは備付六法の番号によって指定する場合がある。その場合、学生は入室時に必ず番号札もしくは備付六法を受け取り、指定された席に座らなければならない。また、番号札もしくは備付六法は監督者の指示に従い必ず返却しなければならない。着席後は、私語を慎み、筆記具その他予め許可されたものの以外は隣の座席に置かなければならない。

解答用紙には、最初にボールペンもしくは万年筆で学籍番号、氏名等所要事項を記入し、退出の際には教卓、教壇等、指示された場所に必ず提出しなければならない。解答を断念した場合も同様である。

5大学間単位互換制度に基づき履修が許可された他大学設置科目の試験日時、本学設置科目の試験日時が重複した場合には、他大学設置科目の試験を優先しなければならない。本学設置科目の試験については、教務部に相談し指示を受けること。なお、追試験（本学設置科目のみ）を希望する

場合、所定の期間内に、追試験に関する手続きを行なうこと。この場合に限り追試験の受験料は、徴収しない。

追試験については、履修要覧「履修について」項目9（追試験について）を熟読の上、間違いのないよう、注意すること。なお、追試験は必ず評価の対象となり、棄権は認められない。受験料は受験する科目数にかかわらず2,000円である。

手続期間 2月5日(土)まで（昼休みを除く）

平 日 8時50分～16時00分

土曜日 8時50分～12時00分

日・祝 閉室

手洗い等のため、一時退室することは認められない。

携帯電話、ポケットベルなどについては、電源を切った上バッグ等の中にしまうこと。

◆棄権について

棄権する場合の意思表示は、次のとおりとする。

①学部・学科・学年・学籍番号・氏名を答案用紙に正確に記載すること。

②棄権したことが容易に確認できるように、答案用紙の表側解答欄に「棄権」と大きく記載すること。

「棄権」と記載した答案を提出した場合は、当該科目の全ての権利を放棄したものと見做すため、当該科目についての救済措置は一切行わない。

「棄権」した科目の成績評価はこれを行わず、成績表にも表示されない。ただし、「棄権」した場合であっても、担当教員の判断で平常点評価を付ける場合があり、この場合には成績原簿上に評価が記載される。

◆不正行為について

履修要覧「履修について」項目8（試験について）の3～に記載された行為を行った場合、これを不正行為として学則第70条に基づき懲戒を加える。

学生部からのお知らせ

「教育ローン金利助成奨学金」の募集について

本学が指定する金融機関より学費の納付を目的として、教育ローンを借用した場合、在学中に支払った金利の一部を申請により給付いたします。

概要は以下のとおりです。詳細については、学生部にお問い合わせください。

1. 目的

学費支弁のため教育ローンを利用した方への家計負担軽減を図るため。

2. 指定金融機関

国民生活金融公庫・中央労働金庫
東京三菱銀行・三井住友銀行・みずほ銀行
りそな銀行・UFJ銀行

3. 奨学金額

当年度に支払った金利のうち、「授業料」「維持費」の累積金額に対する金利2%又は、支払った金額のどちらか低い金額を奨学金として給付する。

4. 手続き

平成17年1月8日(土)以降、学生部窓口で申請書類を受け取り、①所定申請書、②振込口座届、③金利支払いを証明する書類を平成17年1月31日(月)までに学生部窓口へ提出する。

5. 奨学金の交付

申請内容を審査の上、適格者に、平成17年3月31日(木)までに指定の口座に振込みをもって給付とする。

「新潟県中越地震」等で被災された皆様への本学の対応について

「新潟県中越地震」ならびに台風等の被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

本学では、災害救助法適用地域に保証人がお住まいで被害に遭われた方、及びそれ以外の地域にお住まいでそれに準じた被害に遭われた方に対して、次のような特別措置を講じておりますので、対象となられます方につきましては至急学生部学生課にご連絡をお願い申し上げます。

尚、「新潟県中越地震」の災害救助法適用地域にお住まいの方には、本学から既にお手紙を差し上げております。

1. 納付金(授業料)の減免(全額又は半額)について

災害救助法適用地域等にお住まいの本学学生保証人の家が被災し、「被災証明書」の提出が出来る方を対象に、被災状況により平成16年度又は平成17年度の納付金の内、授業料を減免(全額又は半額)する。

提出書類：①「被災に伴う減免願」(学生部にて配布)
②被災証明書(罹災証明書)
③振込口座届(平成16年度減免を希望し、学費納付済の場合)

2. 奨学金の緊急貸与について

日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金又は学習院大学奨学金の、平成16年度又は平成17年度の緊急貸与を受け付けます。(学生部へご相談ください。)

但し、学習院大学奨学金は、上記1.の対象となった場合は申請できません。

3. お見舞金の支給について

保証人が災害救助法適用地域等にお住まいの方に、本院よりささやかではございますが災害お見舞金を支給いたしますので、対象となる学生は学生部窓口へ申請してください。

【お問い合わせ先】学生部学生課 03-3986-0221(代表)

振り込め詐欺(オレオレ詐欺)にご注意!!

最近、マスコミ等で報道されているようにオレオレ詐欺が巧妙化して横行しています。

本学の保証人の家庭にも、「お宅のお子様が交通事故を起こした」「お宅のお子様がサラ金から借金をした」等を理由に、本人を拘束しているのですぐに多額の金額を振り込むよう電話があり、保証人から「学校に行っているはずなので確認してほしい」との電話がありました。

巧妙な手口としては、①学生が授業中で携帯電話に出られない時間(午前中)を狙って事実確認が出来ないようにして

いる。②警察官や弁護士を名乗り電話をし、途中で本人に成りすました若い声の人に代わり、泣きながらすぐお金を振り込まないとをされるかわからない!!等、複数の人に代わり真実味を持っていた。等の特徴がみられます。

学生が学校へ来ている時間帯は、本学学生部へご連絡いただければ、出校確認をいたします。原則としては、すぐに現金を振り込む等の対応はせずに最寄りの警察署等に相談をしてください。

架空請求詐欺にご注意 !!

架空請求とは、葉書や封書で身に覚えのない代金請求をすることです。本学においても学生から①アクセスをしていないのに、インターネットの有料アダルトサイトの請求書がきた。②購入していない物の請求書がきて、不良債権処理業者扱いになるので至急入金するように!!等、の郵便がきたのでどのような対応をしたらよいか、といった相談がありました。

その中に、身に覚えのない請求なので、その旨請求相手に電話をしてしまったケースがありました。

その都度、目白警察署に相談しておりますが、折り返し電話をすることで、相手に自分の電話番号を着信履歴で教えることになりその後、その電話に脅迫や嫌がらせ電話がかかってくることもあるとのことでした。

原則的には、身に覚えがなければ、「無視」し、もし継続的に連絡がある場合は、最寄りの警察署や、消費生活センターに相談してください。

■入学試験時の入構について

平成17年度入学試験が、平成17年2月12日(土)から2月15日(火)まで実施されます。みなさんのご協力をお願いいたします。

【学内入構禁止期間】

2月11日(金) 午後5時～2月16日(水) 午前7時

※例年、レポート提出のため入構を希望する学生がいますが、入構許可証をもって下記学生以外は入構できませんので、あらかじめご了承ください。

【入構許可証発行対象者】

- 監督補助員 ● 誘導案内係
- 馬術部 ● 入試業務以外の学生アルバイト

※大学院生(研究)及び理学部学生(卒業実験)で、申請の上、許可された学生は正門で記帳の上入構できます。

【期間中の事務取扱い】

事務取扱いは行いません。

■平成17年3月卒業生(学部)／修了生(大学院)の証明書交付

平成17年3月10日に卒業／修了が決定した学生に対して、次の要領で証明書を発行します。

(1) 証明書の種類

- 成績証明書(和文・英文)

- 卒業証明書(和文・英文)

- 学位取得証明書(和文・英文)

※大学院修了生対象、大学院修了証明書を兼ねる。

(2) 証明書申込(予約) 場所

証明書自動発行機(西5号館4階学生部前)

(3) 証明書発行場所 学生部

(4) 発行日程・手数料(下表参照)

申込(予約)受付日	申込受付期間	発行日	手数料
3月10日(木)	卒業発表揭示後(10時頃)～16時45分	3月20日(日) 卒業式終了後から14時まで	1通 和文 100円 英文 300円
3月11日(金)～19日(土)	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分		
3月20日(日)	9時～14時	3月22日(火)	
3月22日(火)～31日(木)	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	即 日	1通 和文 200円 英文 600円
4月1日(金)以降	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	即 日	

★卒業追加認定者…3月31日(木) 発表後受付開始、即日発行。

庶務部からのお知らせ

平成17年4月8日(金)			
午後1時50分 保証人会	午後1時00分 入学式	午前10時20分 保証人会	午前9時30分 入学式
● 自然科学研究科	● 文学部	● 法科大学院	● 法学部
● 人文科学研究科	● 理学部	● 経営学研究科	● 経済学部
		● 経済学研究科	● 法学研究科
		● 政治学研究科	

平成17年度
入学式・保証人会の日程

平成17年3月20日(日)	
午前11時30分	午前9時30分
● 経営学研究科	● 文学部
● 経済学研究科	● 理学部
● 政治学研究科	● 人文科学研究科
● 法学研究科	● 自然科学研究科
● 経済学部	

平成16年度
卒業式の日程

各部署からのお知らせ

外国語教育研究センター

■英語能力試験（TOEIC）の実施について

本学の英語教育をさらに充実させるため、以下の通り英語能力試験（TOEIC）を実施いたします。今回の試験結果によって皆さんの現在の英語力および一年間の学習の成果等を知ることができますので、忘れずに受験し、その結果を今後の英語学習にご活用下さい。

●対象

1年生および平成16年度インテンシヴ・コース合格者（2年生以上）

●実施日時

平成17年2月5日（土）9：30～12：30

●試験会場

1年生

法学部 西5-B1・201・202

経済学部 西2-301、302、401、501

文学部 哲・ド 西2-402

史・フ 南3-201

日・英・心 西5-301、302、303

理学部 西1-102、103、104、105、106

※1年生のインテンシヴ・コース合格者は、上記の各学部（学科）指定の教室で受験して下さい。

2年生以上

平成16年度インテンシヴ・コース合格者 西1-301

試験会場は変更される可能性がありますので、詳細につきましては、外国語教育研究センター掲示板（北1号館西側掲示場）にてご確認ください。

成績表（スコアシート）は後日郵送しますので、試験当日に次の要領で封筒を必ず持参して下さい。封筒（長形3号）に送付先の住所・氏名および所属の学科・学年・学籍番号を記入の上、80円切手を貼付して下さい。

●問い合わせ先

外国語教育研究センター [北2号館10階]

月～金曜日／9：00～11：30、12：30～16：30

土曜日／9：00～12：00

学生相談室

■学年末休講・春季休業中の開室日および開室時間について

【開室日】下記の閉室日を除き、平常通りに開室しています。

《開室時間》月～金曜日 9：30～17：00

土曜日 9：30～12：30

※図書の貸出等も通常通り

【閉室日】日曜・祭日・入試期間 2月12日（土）～2月15日（火）

【予約・問合せ】

電話03（3986）0221 内線2514

＊ご相談は来室された時になるべく応じるようにしておりますが、予約状況によってはお待ちいただくこともございます。希望のお時間に確実に相談を受けたい方は、事前に電話にて予約されることをおすすめします。

教 務 部

■平成16年度成績表の交付について

平成16年度成績表を次のとおり交付します。

1. 対象者 卒業生・修了生を除く全員

2. 期 間 平成17年3月25日（金）・28日（月）
29日（火）（3日間）

午前9時～午後4時30分

（11時20分～12時30分は昼休み）

3. 場 所 西5号館1階多目的ホール

注意事項

1. 必ず学生証を持参してください。
2. 卒業生・修了生の成績表は3月20日（日）の卒業式・修了式の際に学位記とともに交付します。
3. 科目等履修生の成績表は3月11日（金）以降教務課窓口で交付します。
4. 理学部および自然科学研究科の学生に対しては3月28日（月）・29日（火）の2日間、南1号館2階会議室で配付する予定です。詳細は理学部掲示板でお知らせします。
5. 平成17年度シラバスおよび授業時間割を同時に配付します。

■保証人宛成績通知書送付について

平成17年4月上旬、保証人宛に成績通知書を送付します。

宛先は入学手続書類に記入していただいた保証人の住所・氏名をデータとして使用しますので、それ以降住所変更などがある場合には、早急に学生部学生課まで変更内容を届け出てください。（下記問い合わせ先参照）

また、発送に際しては、原則としてパソコンで利用できる文字（JIS第2水準まで）を使用するため、住所・氏名の文字の一部が届け出いただいたものとは異なる場合があります。不都合がありましたら教務部教務課までご連絡ください。

（下記問い合わせ先参照）

問い合わせ先： 03(3986)0221（代表）

教務部教務課 内線2273

学生部学生課 内線2283

財 務 部

■平成17年度学費納入について

平成17年度第1期分の学費納付金振込依頼書（振込用紙）の発送予定および納付期限は、下記のとおりです。

納入について不明な点などございましたら、大学会計課までお早めにご相談ください。

発送時期 平成17年4月中旬

納付期限 平成17年4月28日（木）

◎必ず送付された振込用紙にて納付してください。

◎年額を納付することもできます。（第1期分のみ振込依頼書と年額分の振込依頼書を送付いたします。）

◎住所変更をされた方は学生部へ届け出てください。

学 費 一 覧 表

(単位 円)

区 分 項 目		入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料			※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費		
				第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期	計							
大 学 部	法学部・経済学部	H7～H9	745,300	485,300	260,000	260,000	260,000	520,000	210,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H10	774,300	504,300	270,000	270,000	270,000	540,000	219,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H11	801,300	521,300	280,000	280,000	280,000	560,000	226,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H12	837,300	544,300	293,000	293,000	293,000	586,000	236,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H13～H16	871,300	566,300	305,000	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	3,500		
	文 学 部	哲学科	H9	824,800	524,800	300,000	300,000	300,000	600,000	210,000	5,000	6,300	500	3,000	
		史学科	H10	857,800	545,800	312,000	312,000	312,000	624,000	219,000	5,000	6,300	500	3,000	
		日本語日本文学科	H11	878,800	558,800	320,000	320,000	320,000	640,000	224,000	5,000	6,300	500	3,000	
		英米文学科	H12	912,800	579,800	333,000	333,000	333,000	666,000	232,000	5,000	6,300	500	3,000	
		ドイツ文学科	H13～H16	944,800	599,800	345,000	345,000	345,000	690,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000	
		心理学科	H12	942,800	609,800	333,000	※ 30,000 363,000	333,000	※ 30,000 696,000	232,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H13～H16	974,800	629,800	345,000	※ 30,000 375,000	345,000	※ 30,000 720,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H9	1,181,800	766,800	415,000	※ 90,000 505,000	415,000	※ 90,000 920,000	250,000	5,000	6,300	500	—	
	理 学 部	物理学科	H10	1,215,800	783,800	432,000	※ 80,000 512,000	432,000	※ 80,000 944,000	260,000	5,000	6,300	500	—	
			H11	1,244,800	801,800	443,000	※ 80,000 523,000	443,000	※ 80,000 966,000	267,000	5,000	6,300	500	—	
		化学科	H12	1,279,800	823,800	456,000	※ 536,000 80,000	456,000	※ 536,000 992,000	276,000	5,000	6,300	500	—	
			H13～H16	1,315,800	845,800	470,000	※ 80,000 550,000	470,000	※ 80,000 1,020,000	284,000	5,000	6,300	500	—	
			H10	1,155,800	723,800	432,000	※ 20,000 452,000	432,000	※ 20,000 884,000	260,000	5,000	6,300	500	—	
		数学科	H11	1,184,800	741,800	443,000	※ 20,000 463,000	443,000	※ 20,000 906,000	267,000	5,000	6,300	500	—	
			H12	1,219,800	763,800	456,000	※ 20,000 476,000	456,000	※ 20,000 932,000	276,000	5,000	6,300	500	—	
			H13～H16	1,255,800	785,800	470,000	※ 20,000 490,000	470,000	※ 20,000 960,000	284,000	5,000	6,300	500	—	
大 学 院	博士前期課程	法学・政治学	H13～H16	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500		
		経済学・経営学	H13～H16	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000		
		人文学	心理学	H15・H16	694,200	454,200	240,000	※ 30,000 270,000	240,000	※ 30,000 590,000	180,000	—	1,200	—	3,000
		自然科学	実験	H15・H16	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—	—
		理学	H15・H16	855,200	530,200	325,000	※ 20,000 345,000	325,000	※ 20,000 670,000	184,000	—	1,200	—	—	
	博士後期課程	法学・政治学 経済学・経営学	H11	544,700	349,700	195,000	195,000	195,000	390,000	150,000	—	1,200	—	3,500	
			H12	573,700	368,700	205,000	205,000	205,000	410,000	159,000	—	1,200	—	3,500	
			(注1) H13	600,700	385,700	215,000	215,000	215,000	430,000	166,000	—	1,200	—	3,500	
			(注2) H14	636,700	408,700	228,000	228,000	228,000	456,000	176,000	—	1,200	—	3,500	
			(注2)(注3)H15-H16	670,700	430,700	240,000	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500	
				H11	544,200	349,200	195,000	195,000	195,000	390,000	150,000	—	1,200	—	3,000
		人文学	H12	577,200	370,200	207,000	207,000	207,000	414,000	159,000	—	1,200	—	3,000	
			(注1) H13	598,200	383,200	215,000	215,000	215,000	430,000	164,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2) H14	632,200	404,200	228,000	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2)(注3)H15-H16	664,200	424,200	240,000	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2) H14	662,200	434,200	228,000	※ 30,000 258,000	228,000	※ 30,000 486,000	172,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2)(注3)H15-H16	694,200	454,200	240,000	※ 30,000 270,000	240,000	※ 30,000 510,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
			(注1) H13	834,200	536,200	298,000	※ 70,000 368,000	298,000	※ 70,000 666,000	167,000	—	1,200	—	—	
	自然科学	実験	(注2) H14	869,200	558,200	311,000	※ 70,000 381,000	311,000	※ 70,000 692,000	176,000	—	1,200	—	—	
		(注3)H15-H16	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—	—		
		H12	755,200	468,200	287,000	※ 20,000 307,000	287,000	※ 20,000 594,000	160,000	—	1,200	—	—		
		(注1) H13	784,200	486,200	298,000	※ 20,000 318,000	298,000	※ 20,000 616,000	167,000	—	1,200	—	—		
		(注2) H14	819,200	508,200	311,000	※ 20,000 331,000	311,000	※ 20,000 642,000	176,000	—	1,200	—	—		
		(注2)(注3)H15-H16	855,200	530,200	325,000	※ 20,000 345,000	325,000	※ 20,000 670,000	184,000	—	1,200	—	—		
専門職大学院 法務研究科	H16 (注4)	1,701,200	944,200	757,000	757,000	757,000	1,514,000	186,000	—	1,200	—	—	—		

注意 1：平成10年度大学院博士前期課程に入学し、13年3月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費		
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						計	
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H10	573,700	368,700	205,000	205,000	410,000	159,000	—	1,200	—	3,500		
		人 文 学	哲～仏	H10	577,200	370,200	207,000	207,000	414,000	159,000	—	1,200	—	3,000	
		心 理 学	H10	607,200	400,200	207,000	※ 30,000 237,000	207,000	※ 30,000 444,000	159,000	—	1,200	—	3,000	
		自 然 学	実 験	H10	805,200	518,200	287,000	※ 70,000 357,000	287,000	※ 644,000 20,000	160,000	—	1,200	—	—
		理 学	理 論	H10	755,200	468,200	287,000	※ 307,000 20,000	287,000	※ 594,000 616,000	160,000	—	1,200	—	—

注意 2：平成11年度大学院博士前期課程に入学し、14年3月・15年3月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費			
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						計		
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H11	600,700	385,700	215,000	215,000	215,000	215,000	430,000	166,000	—	1,200	—	3,500	
		人文学	哲～仏	H11	598,200	383,200	215,000	215,000	215,000	215,000	430,000	164,000	—	1,200	—	3,000
		心理学	H11	628,200	413,200	215,000	※ 30,000 245,000	215,000	※ 30,000 245,000	164,000	—	1,200	—	3,000		
		自然科学	実験	H11	834,200	536,200	298,000	※ 368,000 70,000	298,000	※ 666,000 70,000	167,000	—	1,200	—	—	
		理学	実 論	H11	784,200	486,200	298,000	※ 318,000 20,000	298,000	※ 616,000 20,000	167,000	—	1,200	—	—	

注意 3：平成12年度大学院博士前期課程に入学し、15年3月・16年3月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費	
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						計
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H12	636,700	408,700	228,000	228,000	456,000	176,000	—	1,200	—	3,500	
		人文学	哲～仏	H12	632,200	404,200	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000
		心理学	H12	662,200	434,200	228,000	※ 30,000 258,000	228,000	※ 30,000 486,000	172,000	—	1,200	—	3,000
		自然科学	実験	H12	869,200	558,200	311,000	※ 70,000 381,000	※ 692,000 720,000	176,000	—	1,200	—	—
		理学	理論	H12	819,200	508,200	311,000	※ 331,000 20,000	311,000	※ 642,000 20,000	176,000	—	1,200	—

注意 4：本学法科大学院に対する平成16年度国庫補助金の交付が確定した場合には、その分に見合う授業料の取扱いについて、減額改定を含め適切に対処したいと考えております。

※は、第1期分徴収分です。

※は、研究実験費であり、授業料に含みます。

就職部からのお知らせ

《4年生・修士2年生へ》

■進路決定（就職・内定・その他）届・就職活動報告書等の提出

重要

●《進路決定（就職内定）届（全員提出）》

就職内定または就職以外の進路が決定している方で上記の届を提出していない方は至急提出してください。（用紙は就職部にあります。また、就職部HPからも提出できます。）

未提出の場合、企業人事部から就職部への内定確認・その他の照会の依頼があっても、正確に答えることができません。また、内定後のトラブルにもなりますので注意してください。

●《就職活動報告書・アンケート（就職内定者のみ）》

就職が内定した方は活動報告書およびアンケートも提出してください。後輩達のためにも是非ご協力をお願いします。

■就職希望者で就職が内定していない学生へ（就職支援強化期間開催中）

重要

4年生等の就職希望者でまだ内定を得てない学生は、積極的に就職部に相談に来てください。内定を得ることが出来ずに悩んでいる方は、就職部カウンターでその旨を伝えてください。お話をいただくと、専門の係員が追加募集等の企業の紹介などをいたします。是非積極的にご利用ください。

《3年生へ》

■学内企業・官公庁業務説明会開催

重要

○開催日：①2月3日（木）、4日（金）②2月17日（木）～2月25日（金）（除く：土・日曜日）

※場所・時間等 別途掲示

上記の期間、約150社程度が参加する企業等説明会が学内で開催されます。企業・官公庁担当者の生の声を聞くことのできる大変有用な機会です。是非積極的に参加し活用してください。場所・時間・参加企業等名の各種変更事項等については、随時掲示しますので必ず確認してください。

◆就職部資料室およびPC・AVコーナーの活用◆

就職部資料室は北1号館1階（事務室隣）に、就職部PC・AVコーナーは北1号館2階（事務室上）にあります。ここには、就職に関する様々な資料および公務員関係の資料を取り揃えています。就職等に関して、資料閲覧希望の皆さんは、是非ご利用ください。

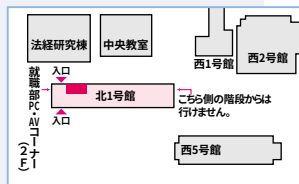
なお、資料室およびPC・AVコーナーの開室時間は、以下のとおりです。

平日 8:40～16:30

土曜日 8:40～12:00

＜ホームページアドレス＞

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/place/index.html>



計算機センター

■卒業予定者へのお知らせ

重要

3月に卒業する学生は、年度末をもって計算機センターの利用が出来なくなります。必要なファイルなどのデータは3月31日までに各自で保存してください。メールアドレスも抹消されますので、必要に応じて関係者に連絡しましょう。

■計算機センター実習室 春季休業中の予定について

【閉室日】日曜日・祝日 および 2月12日（土）～2月15日（火）

【開室日】日曜日・祝日、入試期間以外は平常通り

月～金曜日 9:00～18:00

土曜日 9:00～14:00

施設部

■輔仁会館の貸出

●平成17年1月～3月の貸出●

貸出期間	貸出時間	申込み受付
1月8日（土）～1月19日（水）	平常どおり	12月8日（水）より
1月20日（木）～1月31日（月）	平常どおり	1月8日（土）より ※1月8日に1/20～31分をまとめて受付
2月1日（火）～2月28日（月）	貸し出さない	
3月1日（火）～3月16日（水）	平日16:30まで 土曜12:30まで 日曜貸出なし	2月1日（火）より ※2月10日に3/10～12, 14～16分をまとめて受付
3月17日（木）～3月22日（火）	卒業式（準備・後片付け）の為、貸し出さない	
3月23日（水）～3月31日（木）	平日16:30まで 土曜12:30まで 日曜貸出なし	2月23日（水）より ※2月28日に3/28～31分をまとめて受付

■校外教育施設廃止のお知らせ

岩手県松尾村所在の「学習院八幡平松尾校舎」は、平成17年度をもって使用を停止し、平成18年度以降の早い時期に廃止することとなりました。

学芸員資格取得事務室

■平成16年度「博物館学芸員資格取得者」の発表

＊平成16年度の博物館学芸員資格取得者の発表は平成17年3月10日頃に掲示にて発表いたします。

■「博物館学芸員資格取得証明書」の交付

＊平成16年度に博物館学芸員資格を取得した者に対して、「博物館学芸員資格取得証明書」を下記のとおり交付します。

日時 平成17年3月20日（日）

午前10時～午後2時まで

場所 学芸員資格取得事務室（史料館内）

大学院生、科目等履修生についても3月20日以降に学芸員資格取得事務室において交付します。

注意事項

他大学において必要単位の一部を修得した者に対しては「博物館学芸員資格取得証明書」は交付されません。（「博物館に関する科目の単位修得証明書」は請求があれば発行できます。）当日、博物館実習記録を返却いたします。

国際交流センター

■国際交流センターホームページのご案内

国際交流センターからの各種募集案内や行事等のお知らせは、ホームページを通じてお伝えしています。

また、協定校や留学情報機関のホームページにもリンクがはられています。

留学や国際交流に興味のある学生さん、また外国人留学生の皆さん、ぜひ定期的にのぞいてみてください。

アドレスは<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>です。

なお、国際交流に関する情報は、学外からのものを含め、国際交流センター前および北1号館西側にある掲示板を通してもお知らせしています。

■学習院大学海外留学奨学金の募集

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金」を設けています。

詳細は国際交流センターにおたずねください。

出 願 条 件：教授会等で「留学」として許可されているか、もしくは海外の大学へ出願中の学生

奨 学 金 額：1人50万円（返還の義務なし）

採用予定数：年間12名

出願・選考：年2回（6月および12月）

法経図書センター

■学年末試験に向けて

学年末試験が近づくと、館内が大変混雑します。席取り、飲食、騒々しい会話、椅子の移動、携帯電話の使用等、他の迷惑になる行為は、慎んでください。

■学年末休講・春季休業中の開館日・開館時間

開 館 日 2月3日(木)～2月10日(木)
および2月16日(水)～4月7日(木)
開館時間 月～土曜日 8:50～20:00
但し、4月1日(金)～7日(木)は
月～金曜日 8:50～16:30
土曜日 8:50～12:10

休 館 日 日曜日・祝日、
2月12日(土)～2月15日(火)（入試期間のため）

■学年末休講・春季休業中の長期館外貸出

取扱期間 1月18日(火)～3月31日(木)
返却期限 4月14日(木) 冊 数 通常どおり
＊最終学年在籍者の館外貸出返却期限は、3月12日(土)ですの
で、遅れないように返却してください。

■開館時間延長のお知らせ

1月11日(火)～31日(木)の開館時間を1時間延長いたします。
平 日 8:50～21:00 土曜日 8:50～20:00

大 学 図 書 館

■学年末休講・春季休業中の開館日・開館時間

開 館 日 2月3日(木)～2月10日(木)
および2月21日(月)～4月9日(土)
開館時間 平 日 8時50分～16時30分
土曜日 8時50分～12時
休 館 日 日曜日・祝日、
2月11日(金)～2月19日(土)
3月21日(月)（春分の日の振休）

■パソコンで「Oxford Dictionary of National Biography」を検索できます。

人物情報（収録人数50,000人）に加え一部は写真をみることもできます。2006年3月までの期間限定で、構内のコンピュータ端末からのみ利用できます。アクセス方法は、「大学図書館ホームページ」<<http://www.glim.gakushuin.ac.jp/>>→「外部オンラインデータベース」→「人物情報を探す」からOxford Dictionary of National Biographyを選択してください。

■学年末休講・春季休業中の長期館外貸出

取扱期間（貸出日） 1月18日(火)～3月31日(木)
返却期限 4月14日(木)
上記期間中に貸出したものすべての返却期限です。
＊ 最終学年在籍者（学部4年生、修士2年生）の返却期限は3月12日(土)です。

■本学教員著作・受贈目録（平成16年7月～10月整理）

次の方々から著書をご寄贈いただきました。（50音順・敬称略）

- ① 浅羽茂 経営戦略の経済学 日本評論社 2004
- ② 浅羽茂 ビジネスシステムレボリューション：小売業は進化する NTT出版 2004
- ③ 下川潔 知性の正しい導き方 御茶の水書房 1999（中部大学学術叢書）
- ④ 下川潔 ジョン・ロックの自由主義政治哲学 名古屋大学出版会 2000
- ⑤ 高埜利彦（企画編集）戦後改革と逆コース 吉川弘文館 2004（日本の時代史：26）
- ⑥ 高埜利彦（企画編集）高度成長と企業社会 吉川弘文館 2004（日本の時代史：27）
- ⑦ 高埜利彦（企画編集）岐路に立つ日本 吉川弘文館 2004（日本の時代史：28）
- ⑧ 高埜利彦（企画編集）日本史の環境 吉川弘文館 2004（日本の時代史：29）
- ⑨ 中条省平 中条省平の秘かな愉しみ：cinema jazz comics book 清流出版 2003
- ⑩ 中条省平 中条省平は二度死ぬ！ 清流出版 2004

■山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム・四大学図書館の相互利用停止について

1月は各大学でも試験期となるため、協定による閲覧・館外貸出は停止になります。（國學院大学図書館は利用できます。）協定図書館で特定の資料を閲覧利用するときは、紹介状が必要になりますので、大学図書館2Fレファレンス・カウンターへご相談ください。

■平成17年度入学試験期中 2月11日(金)午後5時～2月15日(火)の図書返却について

学内入構禁止期間中はポスト返却も含め、図書の返却はできませんのでご了承ください。

生涯学習センター 平成17年度資格取得・スキルアップ講座、教養講座のご案内

本センターでは、本学学生、卒業生、ご父兄、地域住民の方を含め、広く一般の皆さんを対象とした、一般教養講座や資格試験対策講座を開設しています。

◎資格試験・スキルアップ講座

長引く景気の低迷や労働市場の流動化等、新卒者を取り巻く就職状況は、一層厳しいものとなっています。多くの学生の皆さんが、大卒と言う肩書き以外にも、客観的な自身の付加価値の指標としての資格を取得するために、所謂、Wスクールをしている方も多いようです。

センターでは、そういった自分の将来に対して**意識の高い学生やスキルアップを目指す卒業生・ビジネスパーソン**を支援するため、内部にキャリアスクール部門を設置。民間の資格専門学校や語学学校と提携し、効率的なカリキュラムや教材、経験豊富な講師陣による各種の資格試験対策やスキルアップ講座を実施し、高い成果をあげています。また、外部機関と比べできるだけ押さえた受講料とするなど、受講生の経済的負担をバックアップ。さらに、講座を受講し修了認定を受け申請すると、支払った受講料の一部**(25%＊16年度実績)**が給付される、**学習院大学在学学生を対象とした「在学学生受講料給付制度(制度対象講座のみ)」**も設置され、現役学生の皆さんにとって、ますます利用価値が高まりました。全ての講座がセンター及び大学構内で開催されるなど、利便性の良さも抜群です。

センターでは、今後もニーズの高い講座を積極的に取り上げてまいりますので、就職・転職活動や社内キャリアアップの一手段として是非お役立て下さい。

下記は、17年度開講を予定している講座です。各講座日程・受講料等の詳細をお知りになりたい学生の方は、西5号館学生ホール入口スタンドに3月上旬から設置する募集要項をお取りください。また、講座により、学生向けガイダンスを実施、講座の概要・資格取得後の効用等を詳しく説明いたします。日程の詳細につきましては、4月中旬以降、学内ポスター・立看板で告知いたします。

卒業生・社会人の方は、センターまで講座総合パンフレットをご請求下さい。

◎一般教養・趣味講座

その他、主に社会人の方を対象とした一般教養講座として、文学、歴史、芸能、芸術、子育て、趣味、語学など、多種多彩な講座をご用意しています。もちろん在学生の方の参加も可能です。

ご父兄、ご卒業生の皆様、この機会に、是非、学校まで足をお運び頂き、生涯学習センターをご利用くだされば幸いに存じます。春期講座の詳細は、2月下旬に完成する講座総合パンフレットをご覧ください。過去1年以内ご請求を頂いている方には、出来上がり次第お送りいたします。新規にご希望の方は、下記、センターまでお申込下さい。

平成17年度 開設予定資格・検定講座一覧

講 座 名	開講期間(予定)	本試験日
☆宅建主任者講座(春期)	5月中旬～10月上旬	10月中旬
☆一般・国内旅行業務取扱主任者講座(春期)	5月中旬～ 9月下旬	9・10月上旬
☆2級ファイナンシャル・プランニング技能検定(AFP)(春期)	6月上旬～ 1月上旬	1月下旬
☆行政書士試験講座(春期)	5月中旬～10月中旬	10月下旬
☆初級システムアドミニストレータ講座(春期)	6月上旬～10月中旬	10月中旬
☆初級システムアドミニストレータ講座(秋期)	11月中旬～ 3月下旬	4月中旬
☆秘書検定準1級・2級講座(春期)	5月上旬～ 6月下旬	6月下旬
☆秘書検定準1級・2級講座(秋期)	9月下旬～11月中旬	11月上旬
日商簿記3級講座(春期)	4月上旬～ 6月中旬	6月中旬
★☆日商簿記2級講座(春期)	6月中旬～11月中旬	11月中旬
日商簿記3級講座(秋期)	9月上旬～11月中旬	11月中旬
福祉住環境コーディネーター3級講座(春期)	5月上旬～ 6月下旬	6月下旬
福祉住環境コーディネーター3級講座(秋期)	9月下旬～11月中旬	11月下旬
★☆証券外務員資格試験二種講座(春期)	5月中旬～ 7月上旬	随 時
☆貿易実務検定講座(春期)	4月下旬～ 6月下旬	7月上旬
☆貿易実務検定講座(秋期)	10月中旬～12月中旬	1月下旬
☆医療事務講座(診療報酬請求事務能力認定試験対応)(春期)	5月中旬～ 7月上旬	7月中旬
☆医療事務講座(診療報酬請求事務能力認定試験対応)(秋期)	9月中旬～12月上旬	12月中旬
色彩検定2級講座(春期)	6月中旬～11月上旬	11月上旬
色彩検定3級講座(春期)	4月下旬～ 6月上旬	6月中旬
TOEIC500講座・TOEIC600講座(春期)	5月中旬～ 7月上旬	7月下旬
TOEIC600講座・TOEIC700講座(秋期)	10月上旬～12月中旬	1月下旬
TOEIC TEST総合対策講座(春期)	5月中旬～ 7月上旬	7月下旬
TOEIC TEST総合対策講座(秋期)	10月上旬～12月中旬	1月下旬
留学準備＋TOEFL点数アップ講座(春期)	5月中旬～ 7月中旬	随 時

☆在学学生受講料給付対象予定講座 ★17年度新規開設企画中の講座

＊その他、実用英会話、オフィス英会話、大学生向けブラッシュアップ英語講座、やり直し英語、コミュニケーションスキルなどの実務・実用、スキルアップ講座も多数開講します。



秘書検定講座授業風景



◆ お問い合わせ・連絡先 ◆

Tel 03(5992)1040
Fax 03(5992)1124
E-mail : shogaigakushu@gakushuin.ac.jp
URL : <http://www.gakushuin.ac.jp/open/>



保健室 だより



●● 平成17年度定期健康診断実施について（新入学生は、別の日程表参照のこと） ●●

定期健康診断を、表の日程により実施します。最低でも、年に一度は身体をチェックをしましょう。

注意事項他

- 各自持参のTシャツを着衣して下さい。（刺しゅう、プリントなど飾りのないもの）
- ネックレス、口紅、マニキュアなどは遠慮してください。
- 長い髪は、バレッタ等の髪留めなどで、上にあげてください。
- 眼鏡およびコンタクトレンズ使用者は、矯正視力のみを測定します。
- 受診時は、携帯電話の電源を切ってください。電磁波により、検査機器の誤作動等の影響があります。

- 健康診断の結果、再検査などが必要な場合に限り、6月末までにお知らせします。
- やむをえず、指定日時に受けられない場合は、健診期間中、別の日時に受けてください。
- 健診期間中、受けられない場合は、医療機関で別表の検査項目を受け、保健室に提出してください。
- 健康診断の未健診または全健診項目を受けなかった場合は、健康診断証明書の発行はできません。特に、尿検査の未提出者が多いので、気をつけてください。
- スポーツ・健康科学III b 野外コース（キャンプ・サイクリング・スキー・ゴルフ・トレッキング）履修者は、集中授業直前に健康診断（スポーツ健診）を実施しますが、原則として、4月の定期健康診断を受けていることが前提となります。

注意

健診中の持物の紛失には、責任を負いかねますので、自己管理のもとに受診してください。

●● 平成17年度定期健康診断実施日程 ●●

月／日		4／1（金）	4／2（土）	4／4（月）	4／5（火）
学 年	午前	4年生 大学院・法科大学院 女 子	4年生 大学院・法科大学院 男 子	2・3年 全学部 女 子	2・3年 全学部 男 子
	午後	4年生 大学院・法科大学院 女 子	4年生 大学院・法科大学院 男 子	2・3年 全学部 女 子	2・3年 全学部 男 子
時 間		受付 ●午前9時～11時30分 ●午後1時～3時30分 ※4／5のみ午後3時終了			
健診順序		西5号館B1教室集合 → 健診カード受取り → 更衣 西5号館1F学生ホール（諸計測、内科診察、胸部X線） → 健診カード提出			
健診項目		4年生・大学院生・法科大学院生 → 身長・体重・視力・血圧・胸部X線・聴力（簡易）・尿・内科 2・3年生 → 身長・体重・血圧・胸部X線・内科（尿は必要者のみ）			
提 要		※学年指定日時に受けられない場合は、健診期間中、他学年の日時に受けてください。 ※研究生・委託生・科目等履修生の健康診断については保健室に問い合わせてください。 （医療機関で受診する場合は、保険適応外なので費用がかかります。） ※学習院大学ホームページのキャンパスライフの「健康管理」においても、案内しています。			

◆◆ 平成 17 年度 学 年 暦 ◆◆

— 学部・大学院 —

4月1日	} 春季休業
7日	
8日	入学式(学部・大学院・法科大学院合同)
9日	新入生履修指導等
12日	第1学期授業開始
25日	} 履修届受付期間 (学部1・2年)
26日	
27日	} 履修届受付期間 (学部3・4年、大学院)
28日	
5月15日	大学開学記念日(休講)
7月8日	第1学期授業終了
9日	試験準備(休講)
11日	} 学期末試験
16日	
19日	} 臨時休業(学則第62条第2項による)
20日	
7月21日	} 夏季休業
9月15日	
9月1日	} 集中講義・補講期間
15日	
16日	第2学期授業開始
10月17日	開院記念日(休講)
21日	} 四大学運動競技大会(休講)
23日	
11月2日	} 大学祭(準備・後片付け含む) (休講)
11月7日	
12月21日	} 集中講義・補講期間
24日	
12月21日	} 冬季休業
1月7日	
18日	第2学期授業終了
19日	試験準備(休講)
1月20日	} 学年末試験
2月2日	
2月3日	} 学年末休講
3月31日	
3月20日	卒業式(学部・大学院・法科大学院合同)
3月27日	} 1～3年生成績表交付
3月29日	

— 法科大学院 —

4月1日	} 春季休業
4日	
4日	履修ガイダンス
8日	入学式(学部・大学院・法科大学院合同)
12日	第1学期授業開始 [一部4月5日]
5日	} 集中講義
7日	
6日	} 履修届受付期間
7日	
5月15日	大学開学記念日
7月15日	第1学期授業終了
16日	} 補講期間
23日	
7月25日	} 学期末試験
30日	
7月31日	} 夏季休業
9月11日	
9月1日	} 特別授業期間
10日	
9月12日	第2学期授業開始
10月17日	開院記念日(休講)
11月2日	} 大学祭(準備・後片付け含む)
11月7日	
12月20日	} 集中講義・補講期間
24日	
12月20日	} 冬季休業
1月7日	
18日	第2学期授業終了
19日	試験準備(休講)
1月20日	} 学年末試験
2月2日	
2月3日	} 学年末休講
3月31日	
3月20日	卒業式(学部・大学院・法科大学院合同)
3月27日	} 1～2年生成績表交付
3月29日	

課・外・活・動・レ・ポ・ー・ト

三曲研究部絲竹会

私たち三曲研究部絲竹会は、箏・三絃(三味線)・尺八を演奏するサークルです。箏と三絃は生田流・山田流の2流派が、尺八は琴古流があります。入部時に各自で流派と楽器を選択し、各流派の先生に週1回お稽古をつけて頂きます。先生方は家元であったり邦楽会の会長であったりと、とても恵まれた環境で和楽器を勉強することができます。

入部時は和楽器に触れたことのない人がほとんどですし、何も楽器をやったことのない人もいますが、先生方の熱心なご指導の下、皆すぐに上達します。その練習の成果を4月の春の演奏会、6月のミニコンサート、10月の定期演奏会で発表しています。少人数で演奏したり、20人以上の大人で演奏したり、演奏される曲もおめでたい曲、遊女を唄った曲、最近作曲されたメロディの聞きやすい曲など色々あります。現在部員も50名を超え、とても盛大な演奏会になっています。特に学外のホールで行う定期演奏会は着物を着ることもあり、とても華やかです。

また、他大学との交流も盛んで、一緒に合宿に行ったり、演奏会を催したりしています。こうした交流が良い刺激となり、より熱心に練習に励んでいます。

和楽器というと古臭い、眠いというイメージがあるかも知れませんが、実際に聴いてみたらカッコよかった、面白かったという感想をよく聞きます。春の演奏会に来て入部を決める新入生も多くいます。私たち自身も入部前は邦楽なんて聴いたこともありませんでしたが、絲竹会に入り、自分で演奏したり先輩の演奏を聴いたりしているうちにすっかり和楽器の魅力にはまってしまうました。少しでも興味を持ったらぜひ黎明218へ足を運んでみて下さい。きっと和楽器に対するイメージが変わると思います。畳のある部室でお待ちしています。



※次号の発行は4月になります。

学習院大学通信 COMPASS
第24号(在学生・保証人配付号)
2005年1月13日発行
◆編集発行◆
学習院大学学生部
東京都豊島区目白1-5-1

編集後記

新年おめでとうございます。今年もCOMPASSをよろしくお願いいたします。昨年の「新潟県中越地震」ならびに台風等の被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。本年は皆様にとってよい年となりますようお祈り申し上げます。

学生部からのお知らせでとりあげましたが、振り込め詐欺と思われる電話が本学の保証人の家庭にもかかってきております。被害にあわないよう冷静に対応をしてください。

(い)